

目次

1. 位置付け・上位計画
2. 学研高山地区第2工区(全体)
3. 学研高山地区南エリア(先行地区)
4. 学研高山地区ゲートエリア(次工区)及びFエリア

ゲートエリアの経過概要(R6.9~)

地区の概要

面積 : 約43ha
 権利者数 : 約120名(代表者) R8.8時点

経過概要

[経緯]

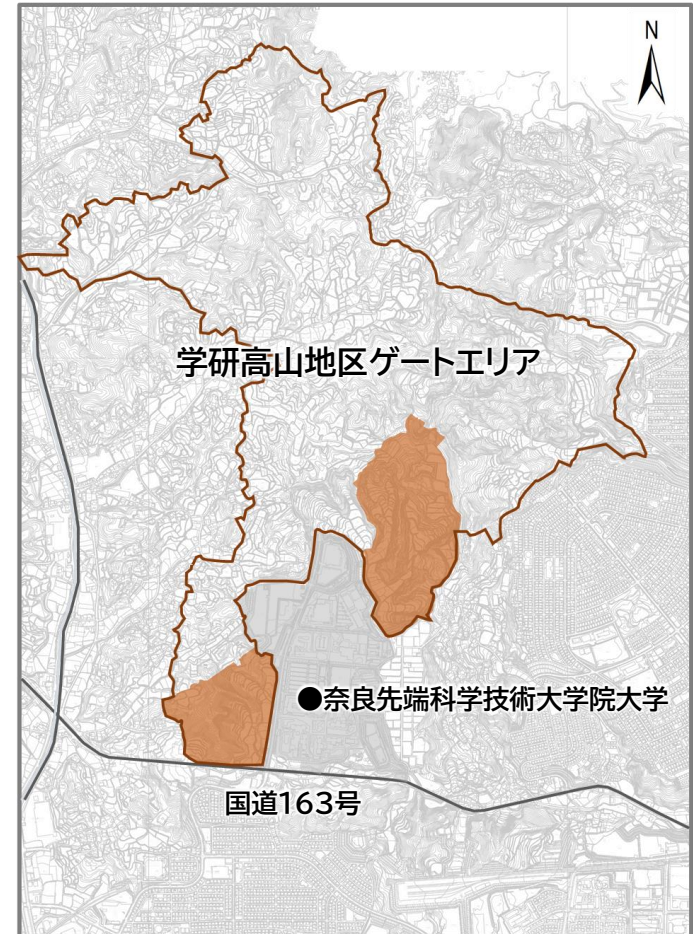
令和6年
 12月 学研高山地区ゲートエリアまちづくり協議会設立
 (参加率77%)

令和7年
 10月 基本構想作成
 12月 基本計画図(案)作成

令和8年
 1月 準備組合設立に係る同意取得の開始
 3月 基本計画作成
 8月 **学研高山地区ゲートエリア準備組合設立**
(同意率82%)

[会議]

まちづくり協議会総会	1回開催
まちづくり協議会役員会	13回開催
勉強会・説明会	2回開催
準備組合総会	1回開催
準備組合役員会	1回開催



ゲートエリアまちづくり基本構想

多様な学びと交流の出発点／最先端テクノロジーによるイノベーション拠点 - 学研高山ゲートウェイ -

交流・発信ゾーン[高山ゲートウェイ]

[目指す空間像]

- ◆ 学研高山地区の玄関口にふさわしい交流と賑わいが生まれる機能と場の集積
- ◆ 学研都市にふさわしい次世代交通システム実装による移動手段の高度化に資する空間整備
- ◆ 地域の魅力や歴史・文化・伝統・アート、先端大等の研究成果の情報発信基地
- ◆ 公園・緑地・調整池等におけるグリーンインフラの創出

[導入が望まれる機能]

- ・ 交流・発信施設 ・ 多機能調整池
- ・ ウェルビーイングに資する施設
- ・ 地域住民の学びにつながる場
- ・ 次世代移動システム



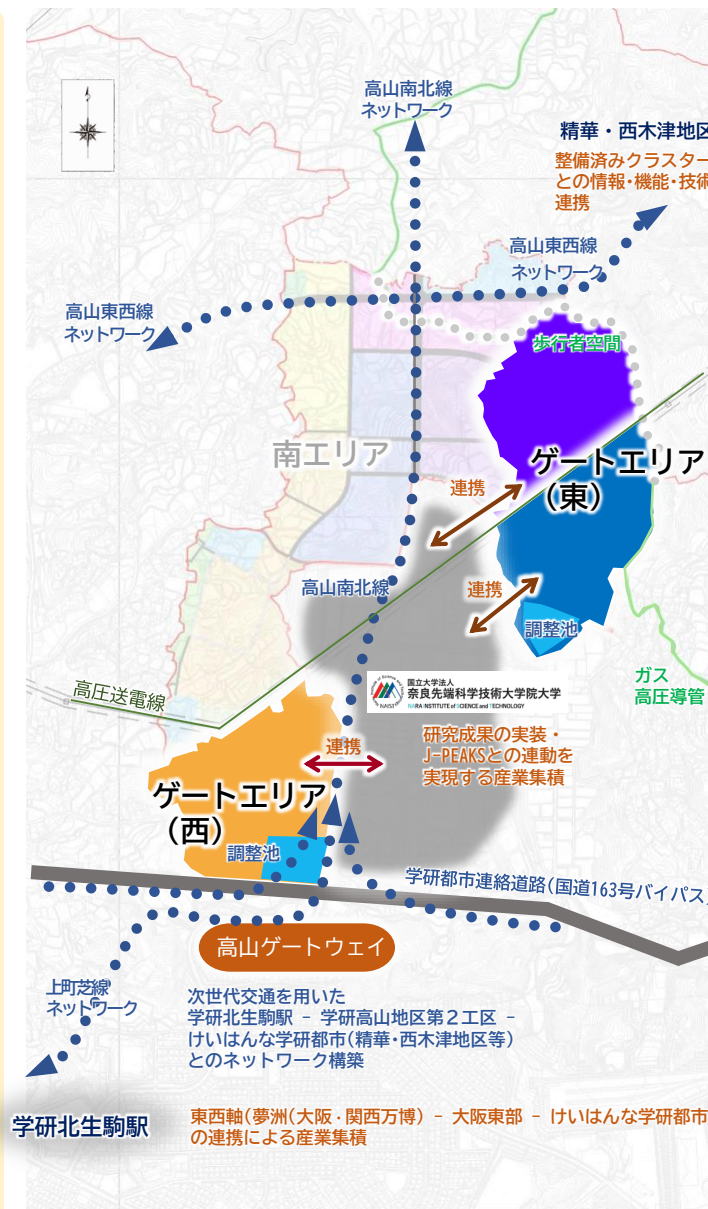
イメージ シーバルビア女川
出典：女川町HP



イメージ 岸和田市道の駅「愛彩ランド」(修景型調整池)
出典：岸和田市HP



イメージ 規制・制度改革とデータ連携を一体的に進め、先端大のサービスを実装「つくば市スーパーサイエンスシティ」
出典：地方創生2. 0好事例



都市型産業ゾーン

[目指す空間像]

- ◆ 文化・学術・研究成果を活かす産業施設・生産施設の集積
- ◆ 研究成果の社会実装に向けた施設の集積
- ◆ デジタル・AI等の新技術を活用した施設の集積
- ◆ GX・DXを活用した産業構造に向けたワット・ビット連携等による新時代の面的インフラ整備

[導入が望まれる機能]

- ・ 研究開発型産業
- ・ 高付加価値なデータセンター



イメージ 生産管理におけるAI活用事例
出典：NTT東日本HP



イメージ データセンターを核とした周辺への企業・人材の集積
出典：北海道HP

文化学術研究ゾーン

[目指す空間像]

- ◆ 技術者の育成を図ることを目的とした施設やスタートアップ企業・研究所・人材の集積
- ◆ 産学官金の連携による研究成果を活かした文化学術研究施設
- ◆ 先端大研究分野(情報科学領域・バイオサイエンス領域・物質創成科学領域)の関連企業の集積
- ◆ 先端大を中心とした教育機関との連携の施設

[導入が望まれる機能]

- ・ 高専や先端大に関連する教育施設 ・ 産学官金連携施設
- ・ 先端大連携研究施設 ・ 首都機能のバックアップ施設



イメージ スタートアップ支援拠点 STATION Ai
出典：愛知県HP



イメージ つくば市物質材料研究機構
出典：国立研究開発法人物質材料研究機構HP

令和7年12月時点



調整池・・・地区内の雨水排水を集めるため、流域の流末(地区内)付近に配置する。規模は法令等に定められた基準値以上とする。

交流・発信ゾーンは公園等と調和のとれた多機能の調整池を検討。

基本計画作成

基本計画作成

[期間]

令和7年3月～令和8年3月

[内容]

- 各種調査(土地原簿・土地所有者名簿作成等)
- 区画整理設計(画地・道路・公園・造成等設計)
- 基本計画の検討
- まちづくり協議会の運営等支援
(地権者意向調査・勉強会・説明会の実施等)

勉強会

[目的]

- ・ 基本構想の共有
- ・ 「換地・減歩」など土地区画整理事業に係る知識習得

[実施時期]

R7年6月

意向調査結果

[目的]

土地利用に係る現時点での考えの把握

[実施時期]

R7年7～8月

[対象者及び回答数・率]

対象113名 回答90名(回答率79%)

[結果の概要]

- 所有地の場所を把握していない方が2割以上
- 現在、ゲートエリア内で耕作している方は1割程度
- 将来、自己活用を考えている方は3割程度
- 土地を売却・貸したいと考えている方は5割以上

説明会

[目的]

- ・ 土地区画整理事業(業務代行方式等)の仕組み
- ・ 基本構想・基本計画図案の共有
- ・ 土地区画整理準備組合の設立について

[実施時期]

R8年1月

学研高山地区Fエリアの事業者提案について

経緯

学研高山地区第2工区マスタープランにおける「段階的整備」「骨格道路」の考え方の実現に向け、地権者の会から事業アドバイザー4者に対し提案を募集したところ、1者から提案提出。

事業者提案

目指すべき方向性（案）

滞在型宿泊施設

- グランピング施設など、自然を活かした宿泊施設
- 自然体感型施設との連携
- 土地所有者の土地活用



イメージ

自然体感型施設

- 高山竹林園と連携するなど伝統産業の振興に資する施設
- 既存の営農環境を活かした農業体験施設



イメージ

自然活用型産業施設

- 自然環境に配慮したエネルギー循環に資する施設（高付加価値データセンター等）
- 自然体感型施設との連携による第6次産業の創出



イメージ



公園・自然緑地

- 既存の有効活用
- グリーンインフラの活用取組み推進



イメージ

調整池・農業用水路

- 防災と水環境の創出
- グリーンインフラの活用取組み推進



イメージ



※ 事業者からの1提案であり、実現可能性の検討は実施されていません。

〔出典〕R7.11/20地権者の会役員会及びR7.11/28事業推進会議の資料

学研高山地区及び周辺地域の価値向上事業 構想提案

構想提案は、「学研高山地区及び周辺地域の魅力向上につながる拠点検討ワークショップ」で作成(R8.5/11)されたものです。拠点づくりの方向性を示す提案であり、実現を保証するものではありません。

学研高山地区 広域的な地域交流の場となる拠点 構想提案

【未来へのゲートウェイ】

高山の食の提供

フードコート

高山産の食材を使った料理や、高山の生産者と奈良先端大の共同開発によるグルメを味わい、楽しむことができる。

・奈良先端大の技術を取り入れたロボットによる調理・配膳を行う等、最新技術の展示場やリビングラボとしても活用。



道の駅どうし
(山梨県道志村)
WEBページより

直売所・ショップ

茶釜や編針といった高山地域の特産品や、近隣で作られた旬の農産品、米菓、酒、漬物等の食品、奈良先端大の技術により品種改良された農産物や食品が購入できる。



道の駅ごか(茨城県五霞町)WEBページより

防災拠点

防災設備

広い敷地と国道沿いという立地を活かした防災拠点であり平時は道の駅として有効に活用する。

- ・大型駐車場はヘリポートに転用
- ・山腹に避難壕を設置し、平時は貯蔵庫等に活用
- ・広場にテント用 フック、炊出しコンロや防災トイレの設置



秋田県能代市のWEBサイトページより

情報発信・交流

観光案内所

道路交通情報、高山地区の観光情報の提供や観光地への移動用小型モビリティを貸出す観光案内所

- ・高山地区の宿泊、飲食店等の情報提供
- ・奈良先端大の新技术によるモビリティ体験



道の駅まえばし赤城(群馬県前橋市)WEBページより

アカデミックメディアスクリーン

デジタルアート技術で奈良先端大の新技术・研究成果や地域(自治体・企業・団体等)の情報等を発信できる。

- ・プロジェクションマッピングの実施
- ・デジタルサイネージの設置



道の駅きつれがわ(栃木県さくら市)WEBページより

アカデミックコラボルーム

奈良先端大と地域が展示発表や会議ができる。

- ・奈良先端大の新技术・研究や市内小中学生の作品等の展示発表ができるスペース
- ・高山地区のまちづくり活動の会議、サイエンスカフェやセミナーの会場



道の駅富士川楽座(静岡県富士市)WEBページより

休息・健康増進

温浴・宿泊施設

来訪者が休息につながる温浴施設や宿泊施設。大学の研究成果、技術の体験もできる。

- ・気軽に素泊まりできる。
- ・奈良先端大、奈良県立医大の連携による研究成果、ヘルスケア技術が体験できる



道の駅きつれがわ(栃木県さくら市)WEBページより

広場、ステージ、調整池など

来訪者が気軽に交流・休息できるスペースであり、イベントやスポーツを楽しむことができる。また集客につながる工夫がされている。

- ・高山を象徴する茶釜モニュメント『おちやせん(落ちやせん)』を設置。受験の聖地とし、話題づくりと集客が可能
- ・屋外イベントも開催できるステージを用意。地域内外の交流の場、地域と奈良先端大の交流を目的とする「先端大フェスタ」の場としても使用可能。
- ・小川や池等の親水環境、淡水魚水族館の設置
- ・調整池の上は、平時には気軽にスポーツを楽しめる施設(テニス、ダンス等のストリートスポーツ)やドッグラン施設を設置



道の駅あらい(新潟県妙高市)WEBページより

大型駐車場

国道163号線等の利用者の駐車場であり観光バスや輸送車両等の大型車両が駐車可能である。

- ・障害の有無にかかわらず利用できる多目的トイレの設置
- ・イベント時に上映できる仮設映画設備(ドライブインシアター)の設置
- ・非常時はヘリポートとして活用



道の駅いたの(徳島県板野町)WEBサイトページより

休憩スペース

山腹にコリドーを設置、その下に来訪者が一時休憩できるスペースを用意し、緑の近くで休憩ができる。

- ・授乳等ができるベビー休憩室、Wi-Fi設備、スマートフォン等の充電機器を設置
- ・イベント時には竹細工などを体験できるスペースを設置

学研高山地区 広域的な地域交流の場となる拠点 構想提案【解説編】

拠点形成の目的

学研高山地区の広域的な地域交流の場となる拠点として、学研高山地区ゲートエリア(西)の交流・発信ゾーンを想定。

国道に隣接し、奈良先端大が近くにあるという特徴を活かした道の駅として、駐車場やトイレ、休憩施設といった基本的な機能のほか、有事の際の防災機能といった付加価値、さらには観光や伝統産業、情報発信の機能として、高山に関連する食の提供、健康増進、交流の場となる拠点を形成する。これらの拠点には先端大との研究成果実装の場を兼ねた、他の道の駅にはない高山の地域特性を活かした拠点を創出する。

利用者としては、学研高山地区の入口にふさわしい交流と賑わいが生まれる拠点となり、観光目的や大学及びけいはんな学研都市への出張者など遠方からの来訪が期待できるほか、大学生や地域住民の雇用創出にもつながる。

地域間連携・公共交通

大型駐車場を立地する特性を活かし、本拠点を軸として、高山地区の他拠点や観光名所等との連携した交通ネットワークの起点機能の創出を図る。LUUPやシェアサイクルなどのパーソナルモビリティ及び次世代交通システムの発着地等が導入されることにより、地域内の円滑な移動や周遊性の向上が期待できる。

防災拠点

活用できる地域資源	地域への波及効果
▶ 国道に隣接している立地 ▶ 地元住民等、地元事業者等を構成する各種コミュニティ（自治会、自主防災組織、経済団体等）	▶ 災害発生時の被害最小化と、復旧迅速化 ▶ 災害発生時の地元住民相互の助け合い、地元住民・地元事業者間の助け合い能力の向上
地域の関わり	
▶ 地元住民等 ▶ 地元事業者等 ▶ 奈良先端大	▶ 防災拠点をベースとした自主防災組織の形成と運営等(防災訓練への参加等) ▶ 食料・復旧資材の供給協力、拠点を利用した域外からの物資の調達と分配等 ▶ 防災技術(センサー、通信等)の実証、被害推定・避難行動・群集行動に関するシミュレーション等のデータ科学の研究成果の還元

情報発信・交流

活用できる地域資源	地域への波及効果
▶ 地域（行政、企業、団体等）が保有する観光、道路交通、地域防災、企業や団体の事業活動等に関する情報 ▶ 奈良先端大が保有する新技術・研究成果	▶ 地元住民と地域外の住民間の交流を通じた地域振興 ▶ 奈良先端大と地域（行政、企業、団体等）との交流を通じた地域振興 ▶ 地域の魅力・情報発信拠点

地域の関わり

▶ 地元住民等 ▶ 地元事業者等 ▶ 奈良先端大	▶ 地域・地元団体の情報提供、来訪者向けの観光情報提供アカデミックコラボルームでの展示発表等 ▶ 各施設の管理運営、アカデミックコラボルームでのイベント企画運営等、地域・地元団体の情報提供、エリマネジメント組織の運営 ▶ モビリティの開発・管理運営技術の提供、デジタルアート技術の提供、地元住民等を対象とした新技術・研究成果の発表等
--	--

高山の食の提供

活用できる地域資源	地域への波及効果
▶ 高山地区で生産される新鮮で多様な品種の農産物 ▶ 奈良先端大の最先端の各種研究	▶ 地産地消の促進と消費機会の創出による地域経済への寄与 ▶ 奈良先端大の技術力と連携し、新たな高山地区の魅力アピール ▶ 6次産業の仕組み化
地域の関わり	
▶ 地元住民等 ▶ 地元事業者等 ▶ 奈良先端大	▶ 高山地区で生産される農産品等の食材や食品の購入、飲食 ▶ 農産品等の出品 ▶ フードコート・直売所・ショップの運営 ▶ バイオ技術を使った品種改良、食品の開発

休憩・健康増進

活用できる地域資源	地域への波及効果
▶ 大阪圏からの良好なアクセス ▶ 医工連携を担う奈良先端大	▶ 地域内外の来訪者の施設利用による地域経済への効果 ▶ 健康づくり活動を通じた地元住民等の健康の維持、向上への寄与
地域の関わり	
▶ 地元住民等 ▶ 地元事業者等 ▶ 奈良先端大	▶ 各施設の利活用、広場等でのイベント開催と参加 ▶ スポーツコミュニティの組成と運営を通じた健康づくり ▶ 各施設の管理運営、スポーツのインストラクター派遣イベントの企画運営等 ▶ 奈良県立医大との医工連携による研究成果 ▶ ヘルスケア技術の提供。

学研高山地区 広域的な地域交流の場となる拠点 構想提案【未来へのゲートウェイ】

高山の食の提供

フードコート

高山産の食材を使った料理や、高山の生産者と奈良先端大の共同開発によるグルメを味わい、楽しむことができる。

・奈良先端大の技術を取り入れたロボットによる調理・配膳を行う等、最先端技術の展示場やエンゲージメントとしても活用。

道の駅どうし
(山梨県東山梨市) WEBページより

直売所・ショップ

実業や観光といった高山地域の特産品や、近隣で作られた旬の農産品、果実、酒、漬物等の食品、奈良先端大の技術により品種改良された農産物や食品の購入ができる。

道の駅にか(佐賀県唐津市) WEBページより

防災拠点

防災設備

広い敷地と国道沿いという立地を活かした防災拠点であり平時は道の駅として有効に活用する。

・大型駐車場はヘリポートに転用

・山腹に避難壕を設置し、平時は貯蔵庫等に活用

・広場にテント・雨・フック、救出用コンロや防災トイレの設置

秋田県鹿角市 WEBサイトページより

情報発信・交流

観光案内所

道路交通情報、高山地区の観光情報の提供や観光地への移動用小型モビリティを貸出する観光案内所

・高山地区の宿泊、飲食店等の情報提供

・奈良先端大の新技術によるモビリティ体験

道の駅えんし(千葉県馬橋市) WEBページより

アカデミックメディアスクリーン

デジタルアート技術で奈良先端大の新技術・研究成果や地域自治体・企業・団体等の情報を発信できる。

・プロジェクションマッピングの実施

・デジタルサイネージの設置

道の駅つれがわ(栃木県さくら市) WEBページより

アカデミックコラボルーム

奈良先端大と地域が展示発表や会議ができる。

・奈良先端大の新技術・研究成果や市内の中学生の作品等の展示発表ができるスペース

・高山地区のまちづくりの会議、イベントスペースやセミナーの会場

道の駅さくら(静岡県富士市) WEBページより

休憩・健康増進

温泉・宿泊施設

来訪者が休憩につながる温泉施設や宿泊施設、大学の研究成果、技術の体験もできる。

・気軽に宿泊できる。

・奈良先端大、奈良県立医大の連携による研究成果、ヘルスケア技術が体験できる

道の駅つれがわ(栃木県さくら市) WEBページより

広場、ステージ、実証場など

来訪者が気軽に交流・休憩できるスペースであり、イベントやスポーツを催すことができる。また集客につながる工夫がなされている。

・高山を象徴する芸術系モニュメント「おやせん(道やせん)」を設置。安眠の聖地とし、訪客づくりと集客が可能

・臨時イベントを開催できるステージを用意。地域内外の交流の場、地域と奈良先端大の交流を目的とする「先端大フェスタ」の場としても使用可能

・小川や池の水を循環、湧き出る水噴霧の設置

・調整池の上は、平時には気軽にスポーツを楽しむことができるオープンエアのストリートスポーツやドッグラン施設を設置

道の駅あいら(新潟県妙高市) WEBページより

大型駐車場

国道163号線等の利用者の駐車場であり観光バスや輸送車両等の大型車両の駐車可能である。

・障害の有無にかかわらず利用できる多目的トイレの設置

・イベント時に上乗せできる仮設映画設備(ドライブインシアター)の設置

・非営利型ヘリポートとして活用

道の駅いたの(徳島県松野町) WEBサイトページより

休憩スペース

山腹にコリドーを設置。その下に来訪者が一時休憩できるスペースを用意し、緑の近くで休憩ができる。

・授乳等ができるベビー休憩室、Wi-Fi設備、スマートフォン等の充電機器を設置

・イベント時には作業などを体験できるスペースを設置

この構想提案は、「学研高山地区及び周辺地域の魅力向上につながる拠点検討ワークショップ」で作成(2026.5/11)されたものです。拠点づくりの方向性を示す案であり、実現を保証するものではありません。

学研高山地区 大学と地域の連携・協力の拠点 構想提案

【地域と大学の課題(ニーズ)と資源(シーズ)が『みつかる、つながる暮らしのまちラボ』】

地域課題×大学研究

② 高齢者交流の場

先端大や県立医大との医工連携、企業の先端技術・機器の実証の場。

- ・高齢者交流施設



日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト

③ まちかど保健室

地域の方が気軽に立ち寄れるサードプレイスかつ健康リビングラボ。

- ・次世代健康測定や健康相談
- ・ウェルビーイングに関する情報発信
- ・孤独対策として社会参加を促す「社会的処方(※)」の実施
- ・運動時データを取得し、研究に活用



藤田医科大学WEBページより

④ スマートハウス・先端ミュージアム

IoTやAIなどの技術を駆使して、住む人によって、より安全・安心で快適な暮らしを実現する居住実験(体験)住宅。

- ・大学の技術や産学連携の成果を情報発信する実証体験型のミュージアム
- ・生活上の様々な情報を収集・分析し、研究に活用することで、快適な生活を実現



奈良先端大 WEBページより

産学連携・起業就業支援

⑨ ジョブ&キャリア支援センター

周辺でアルバイト先や就職先を探したい学生と、若年層が少ない農業や地域産業を結びジョブ支援。

- ・大学連携の就職支援
- ・企業の採用支援
- ・アルバイト仲介
- ・研修教育
- ・キャリア支援 などの複合機能



アカリク WEBページより

⑩ レンタルラボ、レンタルオフィス

産学連携の研究スペース、オフィススペース、研究機器の共同利用等。

- ・大学との共同研究企業
- ・大学スタートアップ
- ・地域の産業用地・産業施策との連携



KRP WEBページより建都

⑪ コワーキング+カンファレンス

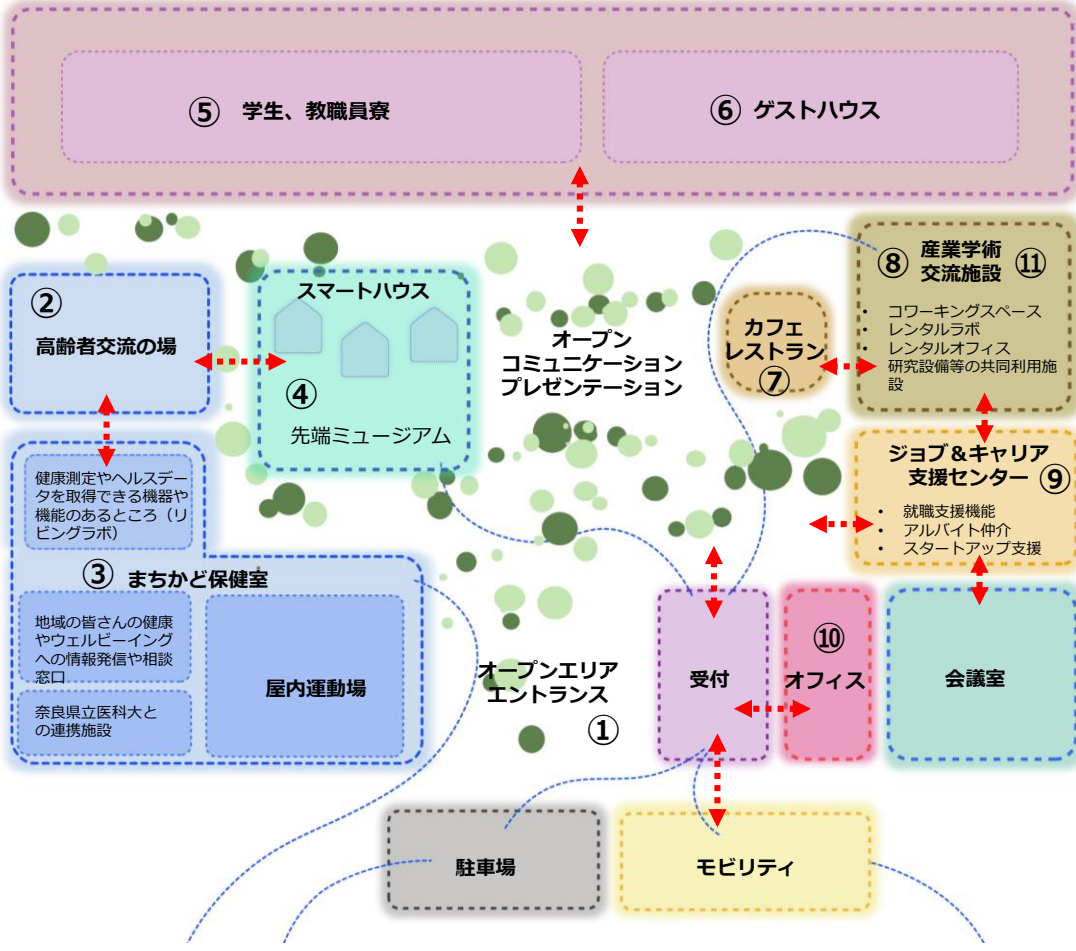
スタートアップや企業、地域産業や住民、団体の会議や共創の推進に活用できる場。

- ・カフェや会議スペース
- ・国が進める大学共創拠点「イノベーション・commons」として



NTT西日本 QUINTBRIDGEWEBページより

※イノベーション・commons…大学に設けられ、多様な人が集まって新しいアイデアを試しながら共創する「開かれたイノベーション拠点」



周辺地域との共同利用

⑤ 学生教職員の寮(国際寮含む住宅施設)

大学と地域の交流促進や、入居者による自主運営寮。

- ・学生・留学生による語学教室や海外料理教室など
- ・学生・留学生アルバイトには寮費軽減
- ・地域散策・地域の方による贈り物が食べられる



大和学園WEBより

⑥ ゲストハウス(宿泊施設)

大学外の関係者が泊まれる、滞りおもてなしにも対応できるハイグレード施設。

- ・中長期滞在者やVIP来客
- ・社会人学生
- ・市民講座受講生
- ・学習・サークル参加のファミリー



長崎大学WEBより

⑦ お洒落なカフェ&レストラン

大学関係者や地域住民が気軽に立ち寄り、交流できる緑の空間。

- ・大学開発の食材や地域食材を活用
- ・留学生の自国メニューの提供



⑧ 大学研究設備の共同利用

大学が保有の最先端の計測・分析・加工設備を学内外共同で利用するための施設。

- ・大学でも取り組んでいるARIM(※)による機器やデータの共有を推進。
- ・レンタルラボやコワーキングスペースでも共同利用



ARIM Japan WEBページより奈良先端大

※ARIM…最先端の研究装置と材料データを全国で共有し、AIで新しい技術を生み出すための国家プロジェクト

エントランス・オープンエリア

① 駐車場・モビリティ・受付

地域住民や企業、学生や大学教職員など、「まちラボ」利用者を受け入れるエントランス機能。

- ・学研高山地区内外の各拠点を自由に移動できるモビリティ
- ・「ここに行けば大学とつながることができる」「地域と企業といつでも交流できる!」そんなワクワク感のある空間

学研高山地区 大学と地域の連携・協力の拠点 構想提案【解説編】

拠点形成の目的

地域住民・大学・企業が連携して地域の課題や社会課題を共有し、大学の研究シーズを活用した解決策を創出し、その成果を企業が製品化・サービス化するまでを一貫して支援する拠点を整備し、地域社会の質の向上と持続的な地域経済の発展を図る。

機能の概要

- ・地域の課題やニーズ、施設利用者のヘルスデータ（バイタルデータ）を含む多様な情報などを集約し、それらを大学や研究者と結び付ける場。
- ・共同研究を行う企業が持つ研究シーズや製品を可視化し、地域住民や事業者、共創を望む企業とのマッチングを促進する機能を備える。
- ・学生・教員・研究者など大学に関わる多様な人々が抱える課題や困りごとを、地域と共に共有し、解決していくための施設としても機能させる。
- ・産業支援や地域の利便性向上を目的として、住民や地域産業、スタートアップ、企業、学生などが幅広く利用できる交流拠点として位置づける。

地域課題×大学研究

活用できる地域資源

- ▶ 医工連携の研究シーズ
- ▶ 地域住民

地域への波及効果

- ▶ 地域の健康力の向上
- ▶ 居場所づくり等による介護予防、地域コミュニティの維持

地域との関わり

- | | |
|--------|---|
| 地元住民等 | 健康相談や運動、様々な健康観察を受けられることによる健康意識の向上や健康維持、病気の早期対応に繋がる。 |
| 地元事業者等 | 大学や地域全体として健康医療福祉に取組むことで、最新の知見を得たり、新たなサービス開発に繋げる。 |
| 奈良先端大 | 研究の実証の場としての活用のほか、地域住民との交流によるリアルな課題把握、実態に即した研究や成果への反映が可能に。 |

産学連携・起業就業支援

活用できる地域資源

- ▶ 学生、留学生
- ▶ 地域の企業

地域への波及効果

- ▶ 地域産業の維持・発展
- ▶ 起業等新たな産業の振興
- ▶ 大学・企業連携の促進

地域との関わり

- | | |
|--------|--|
| 地元住民等 | 新たな産業による地域活性化、農業などの人手不足解消などの地域課題の解消 |
| 地元事業者等 | 人手不足解消、新規事業開発などを大学と連携することで新たな可能性が生まれる。 |
| 奈良先端大 | 学生の就職支援の充実、地域産業との連携強化、スタートアップ支援などによる大学シーズの事業化等 |

周辺地域との共同利用

活用できる地域資源

- ▶ 大学施設
- ▶ 地域住民のスキル
- ▶ 地元食材等

地域への波及効果

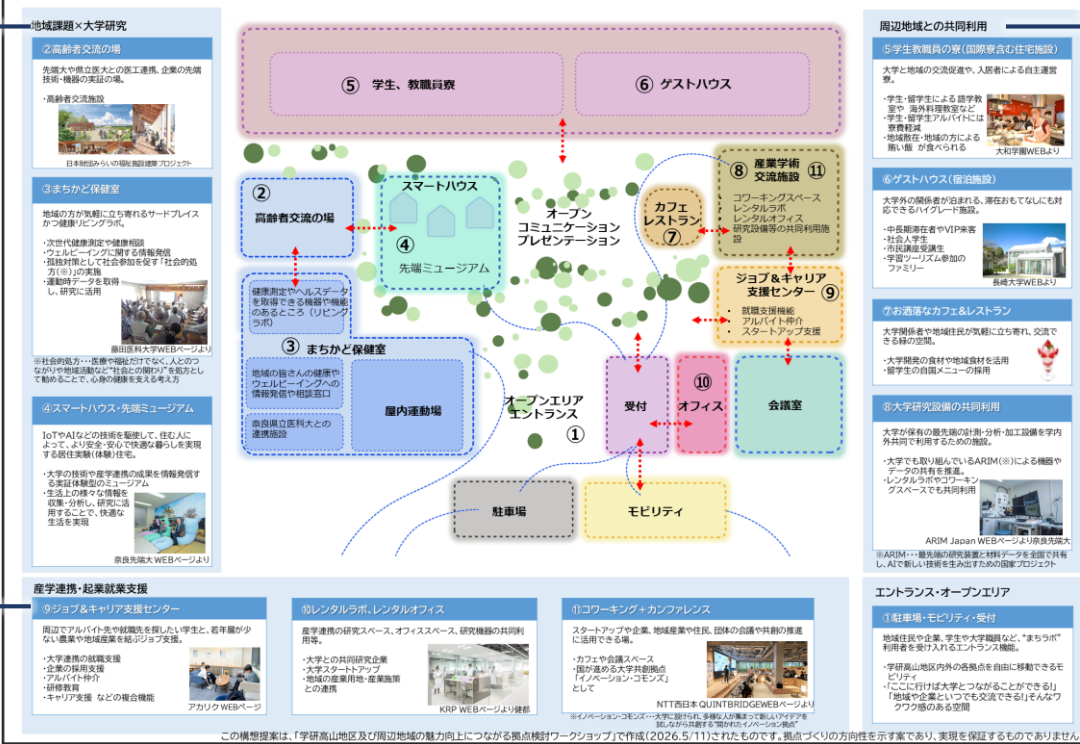
- ▶ 学研都市としての価値を高める
- ▶ 来訪者が増加し、地域活性に繋がる
- ▶ 海外の方にとっても交流の機会となる。

地域との関わり

- | | |
|--------|---|
| 地元住民等 | 大学の学生との交流、学びの場、最新技術の学習等。また、ウェルネスのくつろぎの中でのコミュニティなども実現する。 |
| 地元事業者等 | 大学との交流、新たな住民へのPR（スマートハウス展示等） |
| 奈良先端大 | 研究成果の発表や展示が可能。また、外部との交流による研究促進や、新たな層の取り込みにも活用する。 |

学研高山地区 大学と地域の連携・協力の拠点 構想提案

【地域と大学の課題（ニーズ）と資源（シーズ）が『みつかる、つながる暮らしのまちラボ』】



学研高山地区 周辺地域の暮らしの向上拠点 構想提案

【食・健康・文化・学びの交流拠点 ― 生活の質が高まる“たけまるタウン” ―】

商業／利便施設・ショッピング

スーパー・クリニック・薬局など

日々の生活の核となる商業施設

- ・日用品の買い物
- ・海外食材や地元野菜などの販売
- ・奈良先端大共同開発の商品も展開
- ・駐車場
- ・地域内の回遊性を高めるパーソナルモビリティ・自動運転の実装・実証



海外の食材も♪

飲食店など

公園などの緑を背景に、国際色豊かなカフェ&バー、パン屋、レストラン、居酒屋、バル

- ・アジア料理やハラル食など、多様な海外訪問者への対応
- ・奈良先端大が開発した発酵食品やビール等
- ・会社がいりにも立ち寄れる



南池袋公園

生活用品等ショッピングなど

ファッション、雑貨、園芸店や娯楽施設等、日常を豊かにするお店

- ・観光客などにも魅力的なショッピングの機会
- ・お酒店など、試飲体験などもできる



BONUS TRUCKのWEBページより下北線路街

緑・公園

広場・ステージ・遊具など

地域の方々がつくろぎ、楽しみながら、健康づくりや音楽・踊り等のさまざまな活動・表現に取組める、地形を活かした広場やステージのある緑豊かな空間

- ・マルシェやチャレンジショップ
- ・地場産野菜のファーマーズマーケット
- ・イベントや発表・表現の空間（祭り、クラブ活動、音楽・踊り等）
- ・子どもの遊び場（プレイパーク等）
- ・ペットフレンドリースペース
- ・学生などのサークル活動
- ・防災機能



“KOTOPOST”
IKE-SUN PARK WEBページより

BBQ

家族連れや友達、海外の方も楽しめる、エコで、季節を問わず快適に過ごせるBBQ設備

- ・奈良先端大の技術活用（パロプスカイトなど）
- ・アートとも融合
- ・外国人対応のBBQ食材・生食（いけす）で魚を釣ってBBQにも！



アートと融合した太陽光
パネルのBBQ施設

大学連携のリビングラボ

公園などを使って、奈良先端大と地域共創の実証型研究などを実施

- ・奈良先端大などの研究開発の試行や、製品化
- ・アートとも融合
- ・れた商品の販売など
- ・先端大による体験型イベントなどを実施
- ・ロボットの検証フィールド

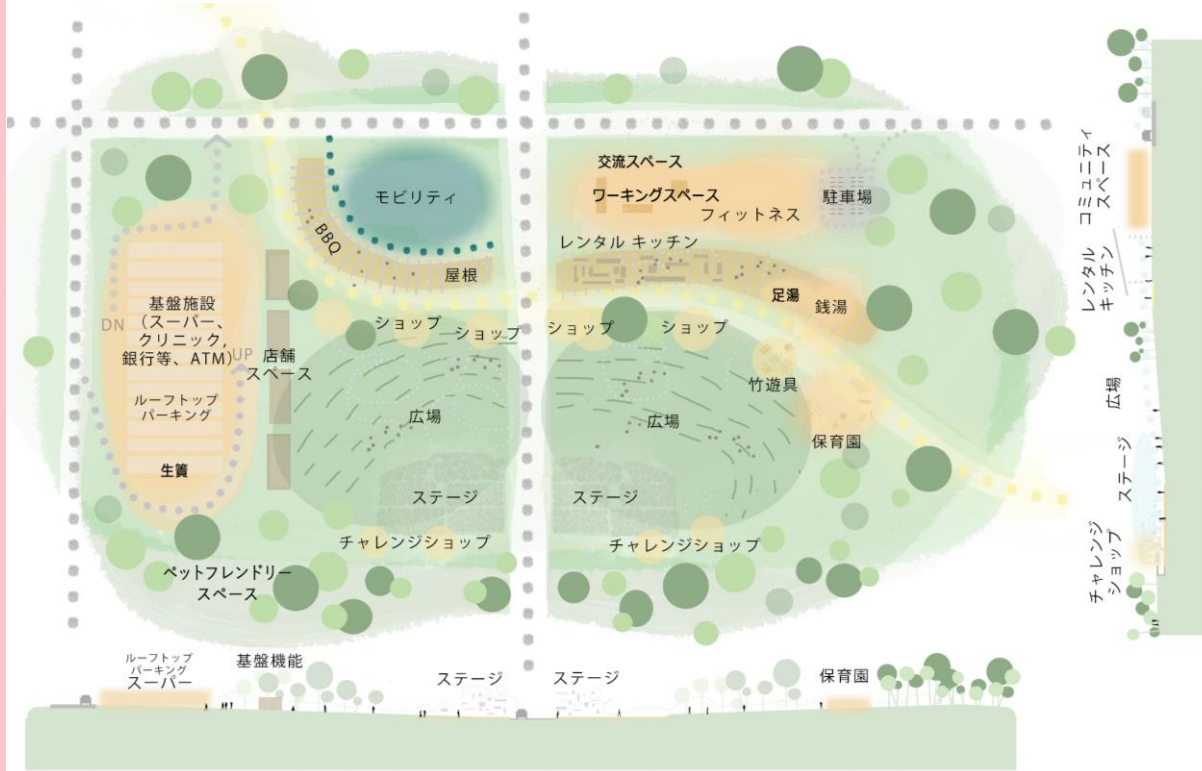


下北線路街「BONUS TRUCK」
（株式会社散歩社提供）

地域資源「竹」や歴史的背景「古道」の文化の継承

全体のしつらえに竹を取り入れた、伊勢参りの古道の名残を今に伝える緑道歴史の記憶を感じられる空間

- ・「たけまるくん」が来訪者をお出迎え
- ・遊具などにも、竹素材が活用
- ・古道の名残は緑道へ
- ・緑道の途中には、風情のある休憩所や茶室で点てのお茶屋が点在
- ・生物多様性の促進



学び・交流・コミュニティ

交流スペース・レンタルキッチン

地域と奈良先端大が交流できる地域交流スペース、チャレンジできるキッチン、趣味の教室など

- ・留学生などとの語学や調理などを通した国際・文化交流
- ・竹編針などの趣味の教室
- ・大学によるサイエンスコミュニケーション（サイエンスカフェ）・実証実験
- ・学生や就業者のワークスペース



瀬戸くらし研究所

学びの場

学研都市にふさわしい、子どもから大人まで、学びの機会創出の場や保育園

- ・奈良先端大との連携
- ・アーティスト等の活動の場
- ・など文化を養う



保育園と大学の連携協定事例
社会福祉法人峰陽会のWEBページより

フィットネス・銭湯や足湯

日々の健康や交流を支える、ウェルネス機能を備えた施設

- ・身体を整える設備や 道具などは、竹素材（竹の足つぼみなど）
- ・公園を眺めながら足湯



湖畔公園の足湯 諏訪市WEBページより

学研高山地区 周辺地域の暮らしの向上拠点 構想提案【解説編】

拠点形成の目的

学研高山地区第2工区の中核として都市機能の集積が求められる南エリアを想定し、周辺地域の暮らしの質を向上させ、人々の交流を育む拠点として、ライフステージの変化や新しい生活様式に対応した生活利便施設の集積と、コミュニティが生まれる機能集積を図る。

緑豊かな空間と景観を形成するため、広場や緑地を核に日常の生活利便機能を配置する。緑の空間は、くつろぎと健康づくり、多様な活動の場とし、地域の祭りや大学のクラブ活動、音楽や踊りなどの表現の場としての活用とする。また、広場周辺には魅力的な店舗を点在させ、賑わいと回遊性を生み出す。地域住民だけでなく、海外からの来訪者・滞在者にも配慮した食や買い物の環境を整え、訪問者の滞在を支える、多様性を受け入れる拠点を形成する。

さらに、学研都市の特性を生かし、大学関係者・海外滞在者に開かれた国際的な学びと交流の場を形成するとともに、大学や研究機関と連携し、先端技術の実証・共創型の研究・交流、サイエンスカフェなど日常的な学びの機会を創出する。

これらの機能は、平日には地域での豊かな暮らしを支え、週末にはウェルビーイングを求める親子連れや観光客を迎える場となる。

地域間連携・公共交通

本拠点は、将来、学研高山地区第2工区の中核として、東西南北の周辺地域を結ぶ主要道路と隣接する結節点として、近隣住民や奈良先端大、地域事業者に加え、周辺地域からもアクセスしやすい立地である。

今後、まちの整備と合わせ公共交通の導入検討が進められるが、商業機能の活用を促すため、基幹となる公共交通に加え地域内の回遊性向上に向け、LUUPやレンタサイクルなどのパーソナルモビリティポートの導入が望まれるとともに、運転に依存せず、仕事帰りに立ち寄り可能な公共交通の充実も求められる。

商業／利便施設・ショッピング

活用できる地域資源

- ▶ 地元の物産(野菜・茶釜・編針等)
- ▶ 大学と地域事業者などが開発した商品や研究成果など

地域への波及効果

- ▶ 一次産業を含めた地域産業の発展への貢献
- ▶ 大学や研究機関の研究・開発した成果の試行による普及・発展
- ▶ 周辺観光地への観光客の移動拠点

地域の関わり

地元住民等 生活に必要な日用品の買い物
働く・学ぶ・応援の場

地元事業者等 開発・生産したものの販売
レストランなどの事業展開

奈良先端大 研究・開発した成果の試行
学生・留学生・教員や海外からの訪問者の食や買い物

緑・公園

活用できる地域資源

- ▶ 地形、在来動植物、竹など
- ▶ 歴史的背景(古道・祭り・伝承・文化など)

地域への波及効果

- ▶ 地域の歴史の継承
- ▶ くつろぎ、健康、にぎわいづくり
- ▶ 竹など地域特産の波及

地域の関わり

地元住民等 日常的なくつろぎ、健康、にぎわいなどの場
地域の行事(お祭り)などの開催、参加
チャレンジショップなどのチャレンジの場

地元事業者等 日常的なくつろぎ、健康、にぎわいなどの場
CSR/CSVなどの活動、地域貢献

奈良先端大 地域共創型の研究
学生や教員などの活動の場所

学研高山地区 周辺地域の暮らしの向上拠点 構想提案

【食・健康・文化・学びの交流拠点 — 生活の質が高まる“たけまるタウン” —】

商業／利便施設・ショッピング

スーパー・クリニック・薬局など

日々の生活の核となる商業施設

- ・日用品の買い物
- ・海外食材や地元野菜などの販売
- ・奈良先端大共同開発の商品も展開
- ・駐車場
- ・地域内の回遊性を高める(パーソナルモビリティ・自転車)の実証・実証

海外の食材もよ

飲食店など

公園などの緑を背景に、国際色豊かなカフェ&バー、パン屋、レストラン、居酒屋、バー

- ・アジア料理やハラール食など、多様な海外訪問者への対応
- ・奈良先端大が開発した発酵食品やビール等
- ・会話がしやすくなる

生活用品等ショッピングなど

ファッション、雑貨、開店や新築施設等、目標を掲げにする施設

- ・観光客などにも魅力的なショッピングの機会
- ・お洒落な、試飲体験などもできる

BONUS TRUCKOWEBページより下北観西街

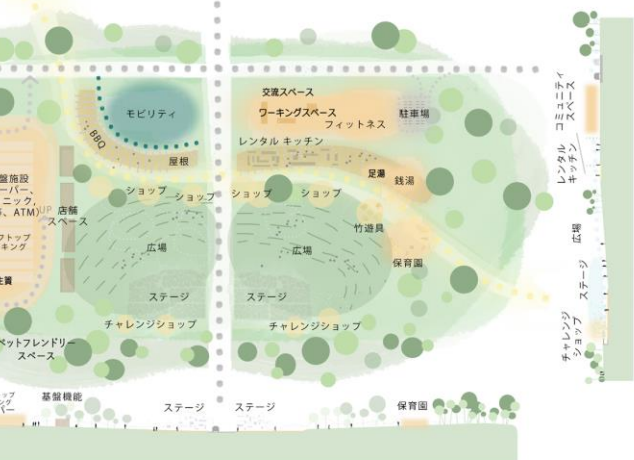
緑・公園

広場・ステージ・遊具など

地域の方々がくつろぎ、楽しみながら、健康づくりや音楽・踊り等のさまざまな活動・表現に励める、地形を活かした広場やステージのある緑豊かな空間

- ・マルシェやチャレンジショップ
- ・地産野菜のファーマーズマーケットイベントや発表・表現の空間
- ・(祭り、クラブ活動、音楽・踊り等)
- ・子どもの遊び場(プレイパーク等)
- ・ペットフレンドリーなスペース
- ・学生などのサークル活動
- ・防災機能

「KOTOPORT」(IKE-SUN/パークWEBページより)



学び・交流・コミュニティ

交流スペース・レンタルキッチン

地域と奈良先端大が交流できる地域交流スペース、チャレンジできるキッチン、趣味の教室など

- ・留学生などの留学や留学などを通じた国際・文化交流
- ・竹炭などの産品の販売
- ・大学によるサイエンスコミュニケーション(サイエンスカフェ・実証実験)
- ・学生や教員等のワークスペース

学びの場

学研都市にふさわしい、子どもから大人まで、学びの機会創出の場や保育園

- ・奈良先端大との連携
- ・アーティスト等の活動の場
- ・など文化を育む

保育園と大学の連携促進と社会福祉法人のWEBページより

フィットネス・銭湯や足湯

日々の健康や交流を支える、ウェルネス機能を備える施設

- ・身体を整える設備
- ・遊具などは、竹炭材(竹の足つぼみなど)
- ・心身を癒やすから足湯

調剤公園の足湯、調剤市WEBページより

大字連携のリビングラボ

公園などを背景に、奈良先端大と地域共創の実証実験研究などを実施

- ・奈良先端大などの研究開発の試行や、製品化された商品の販売など
- ・先端大による体験型イベントなどを実施
- ・ロボットの実証フィールド



下北観西街 BONUS TRUCK (株式会社豊田自動織機)

地域資源「竹」や歴史的背景「古道」の文化の継承

全体のしつらえに竹を取り入れた、伊勢参りの古道の名残を今に伝える緑豊かな空間

- ・「たけまるくん」が来訪者をお迎え
- ・遊具などは、竹炭材(竹の足つぼみなど)
- ・古道の名残を再現
- ・緑道の途中には、憩いのある休憩所や茶室や会えるお茶室の存在
- ・生物多様性の促進



この構想提案は、「学研高山地区及び周辺地域の魅力向上につながる拠点検討ワークショップ」で作成(2026.5/11)されたものです。拠点づくりの方向性を示す案であり、実現を保証するものではありません。

学研高山地区 自然・歴史文化との共生拠点 構想提案【解説編】

拠点形成の目的

この地域は学研高山地区第2工区の自然的土地利用を想定し、豊かな自然環境を活かし、周辺の伝統産業や歴史文化資源と一体となったエリアを形成し、自然体験と地域文化を楽しむ滞在・交流の場の創出を目指す。地域の観光資源や事業者、住民と連携し、飲食や農業指導、体験プログラムなどを通じて来訪者を受け入れる体制を整えるとともに、地域同士をつなぐ拠点を整備し、交流の広がり促進する。施設としては、クラインガルテンや観光農園を中心とした体験型施設に加え、周辺地域の空き家を活用した宿泊・移住や、耕作放棄地の活用や地域課題の解決にもつなげる。また、お試し移住や農業体験など多様な機会を設け、都市部の来訪者や新規就農・就業希望者、移住検討者を呼び込み、滞在から定住へとつながる流れを創出し、持続的な地域活性化を図る。

地域間連携・公共交通

各拠点が役割を分担しながら相互に連携し、地域全体の魅力向上と回遊性の創出を図る。農園は大学の研究やリビングラボの拠点として活用し、実証実験や成果発信の場とする。今後整備が想定される道の駅と連携し、来訪者を体験拠点へ誘導するとともに、農産物の出荷など双方間の連携を進める。さらに、基幹となる公共交通に加え地域内の回遊性向上に向け、LUUPやレンタサイクルなどのパーソナルモビリティポートを導入し、移動環境の向上を図る。加えて、先端大や高山竹林園、高山八幡宮などとも連携し、学術・観光・文化が運動する広がりある地域づくりを目指す。

農業・自然

活用できる地域資源	地域への波及効果
▶ 空き農地や耕作放棄地 ▶ 農業者による新規就農・農業体験支援 ▶ 竹・竹産業・茶釜技術者 ▶ 自然豊かな環境 ▶ 奈良先端大	▶ 竹などの地域特産の波及 ▶ 地域産業の活性化 ▶ 大学連携による農業生産性向上

地域の関わり

地元住民等	空き農地の提供や農業や自然に関する各種イベントへの参加・運営
地元事業者等	農業体験者との交流など 循環型農業の実践の場の運営、農のリアルを知る農業体験をきっかけとする新規就農者の育成、高山特産品のPRなど。
奈良先端大	大学連携による先端技術の導入、研究成果の社会実装・展示の場、地域農業者等と意見交換や課題共有の場として活用。

移住対策

活用できる地域資源	地域への波及効果
▶ 空き家や古民家 ▶ 子育てしやすい地域コミュニティや自然環境	▶ 空き家活用による地域課題の解決 ▶ 移住者の増加による地域活性化

地域の関わり

地元住民等	空き家の提供や、お試し移住者との交流・コミュニケーションで高山の魅力伝える。
地元事業者等	空き家DIYイベントや空き家仲介などの住まい対策、また移住相談やコーディネートなどで安心して移住を考えられる仕組みづくり。
奈良先端大	環境やスマート技術などの研究成果や実証実験による地域の新しい価値や産業の創出。

学研高山地区 自然・歴史文化との共生拠点 構想提案【みんなで体験！高山のあれこれ みんなで活用！高山地区の資産】

農業・自然活用

竹の活用

建物や農業資材などに竹を使用し、様々な竹活用の展示場を。

・竹にニールハウス、竹チップ、肥料、ベンチ、発酵槽の活用等

農林水産省WEBページより

大学連携

大学と連携した農業技術・農産物の研究・開発成果の導入・展示。また、学術・地域の課題解決の実証の場としても活用。

奈良先端大WEBページより

循環型農業の実践

循環型農業、自然との共生の実証・発信。
・アクアポニックス
・竹チップ活用
・子犬と共生する学びの場としても活用。

(一社)アクアポニックス推進協会紹介資料より

農のリアルを知る農業体験

一般的に収穫体験だけでなく、農家の地道な作業や、自然に寄り添うられるリアルも知るための体験コース。

・収穫りや力仕事など
・自然に左右されることも貴重な体験
・就農希望者にとって実践的な学習材料。

生駒市WEBページ

農業サポート・就業相談

体験者や農業者が近いクラインガルテン利用者に向けたサポートを行う。

・農機具貸出
・レンタルカー
・トレーニングウェアの整備
・就業相談など。

生駒市公団Dhome

宿泊・観光・文化体験

キャンプ場、グランピング場

高山の自然を楽しむ入り口施設として。
・竹活用の特色ある施設・設備
・農業体験や工芸体験もできる
・高山美談のきっかけ

生駒市観光WEBページ

工芸体験・地域物産売所

来訪者に高山の魅力を知ってもらう。
・竹細工
・茶釜づくり体験
・餅つきや茶釜体験
・地元産品によるアート体験など

生駒市WEBページ

カルテッククラインガルテン

農地とコテージ、ガーデン付きコテージを併設し、週末農業やガーデニングを楽しむコース。
・農業や園芸道を通じた交流の場としても活用。

各種クラインガルテン
笠間市WEBページより

緑で囲まれた空家ホテル

空き家DIYワークショップなどで地域内外で展開して、空家をホテルに。

空家に新たな価値とコミュニティを創り出す。

丹波市移住交流サイト
おきなびくろくろWEBサイトより

モビリティ拠点

カルテッククラインガルテンと高山の名産等を繋ぐ移動拠点の整備。
サイクリング拠点などもおき、他拠点との連携も図る。

高山観光WEBページより

移住対策

お試し移住、空き家紹介など

移住希望者に、実際の暮らしを体験してもらうことで、移住後キャンセルを解消。

・空き家紹介
・お試し移住のコーディネート。

クロアサキムにWEBページ

飲食

レストラン・カフェ

地域住民が調理や運営する素朴な味わいのレストラン。

・地域農産物や大学産品を使用。
・地域内外の交流拠点としても活用。

生駒市観光WEBページ

この構想提案は、「学研高山地区及び周辺地域の魅力向上につながる拠点検討ワークショップ」で作成(2026.5/11)されたもので、拠点づくりの方向性を示す案であり、実現を保障するものではありません。

飲食

活用できる地域資源	地域への波及効果
▶ 地域の農産物 特産品 ▶ 地域事業者、地域住民 ▶ 地元食材を活かした料理	▶ 物販等による地域経済の活性化 ▶ 雇用や地域住民との交流を生み出す場の創出

地域の関わり

地元住民等	調理や運営の担い手、働く場、住民同士や地域外の来訪者とのコミュニケーションの場としての利用
地元事業者等	地元農産物の提供、茶に関するメニュー・コンテンツなどで消費拡大や高山特産品のPRに繋げる。
奈良先端大	学生のアルバイトの場や地域住民とのコミュニティの活性化

宿泊・観光・文化体験

活用できる地域資源	地域への波及効果
▶ 空き家や高山の自然環境 ▶ 高山竹林園や高山八幡宮などの歴史文化資源 ▶ 竹細工や茶釜などの伝統工芸品	▶ 農業や高山の産業振興 ▶ 来訪者が滞在することで地域住民との交流や高山の魅力の創出

地域との関わり

地元住民等	自然環境を活用した体験ワークショップや食の提供、地域の魅力を伝える案内役、来訪者との継続的な関係性の構築
地元事業者等	自然体験宿泊の運営、クラインガルテン利用者に対する農業指導などの、自身の経験や知識の伝達。
奈良先端大	自然や科学体験などの学習プログラムの提供などにより、他拠点にはない魅力ポイントの発信。